

## 2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 1 月 24 日作成)

小委員会名	生活様式変容と住環境計画小委員会	主 査 名：室田昌子 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：野嶋慎二
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本委員会では、今後の生活様式の変容に着目し、その変容の方向性と住環境に及ぼす影響を検討し、今後の住環境計画の在り方を提案する。</p> <p>生活様式の変容の要因としては、コロナ禍による生活変化、働き方の変化やテレワーク化、IT 化の浸透、自然環境志向、コミュニティや人間関係の変化などがあるが、継続的变化に着目し、これらによる住空間・近隣・日常生活圏の行動変化とニーズ変化、住宅の立地構造変化などを想定する。住環境に関連する価値変化、生活様式や行動変化を踏まえ、住環境として望まれる空間や施設、環境、立地を検討し、住環境計画の在り方を提案する。</p> <p>①初年度：研究会の開催（オンライン開催）：研究方針の検討・前提条件や分析枠組みの検討、価値変化・生活様式変化・行動変化に関する知見の共有の実施、・学会大会における OS の実施</p> <p>②2 年度：・研究会の開催（対面開催とオンライン開催）：価値変化・生活様式変化・行動変化の検討、各地域・各空間・各視点におけるニーズ変化・課題の整理、 ・合同見学会・ヒアリング調査の実施、・学会大会における OS の実施</p> <p>③3 年度：研究会の開催（対面開催とオンライン開催）：各地域・各空間・各視点におけるニーズ変化・課題の整理と住環境計画の検討、合同見学会・ヒアリング調査の実施、・学会大会における PD の実施</p> <p>④4 年度：研究会の開催（対面開催とオンライン開催）：住環境計画の提案・全体取りまとめ、合同見学会・ヒアリング調査の実施、・学会大会などにおける PD、OS の実施</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：あり</p> <p>主査：室田昌子 幹事：桑田仁、佐久間康富 委員：青木幸一、阿部大輔、川田浩史、木内望、後藤智香子、星卓志、斉藤 圭、鈴木健太郎、中野 卓、吉村輝彦、山村崇、似内遼一</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	生活様式変容と住環境計画 WG：前委員会のまとめ	
2022 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：あり 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/toshi/s10/">http://news-sv.aij.or.jp/toshi/s10/</a>

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 <small>*能力開発支援事業委員会承認企画</small>	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>○メンバー中心に発表会を開催し、メンバー間の研究成果や情報交換が実施できた。また、3 月には大阪での見学会・勉強会を予定しており、さらなる発展ができる基盤ができた。</p> <p>○今年度は、本テーマの更なる追及など、委員でワークショップを実施し、課題と事例についての見取り図を作成した</p> <p>○大会でオーガナイズドセッションを開催し、5 本の研究発表があり、有意義な意見交換ができた。</p> <p>以上から、今年度の目標はおおむね達成できたと考える。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 外部に向けた発表会などの成果報告ができていないので次年度実施する予定</p> <p>2. WG は開催できていなかったため、次年度は終了する</p>